|  |
| --- |
| １　力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現  企業集積の強みやオープンイノベーションの推進、文化芸術、観光・ＭＩＣＥ、スポーツの力により、新たな価値・産業・賑わいを創出します。 |
| ◆市内企業の成長・発展と戦略的な企業誘致  中小企業への基礎的支援の充実を図りつつ、ＩｏＴ利活用等のプラットフォームからの事業展開、研究開発人材、起業家、学生等が交流できる拠点機能充実等によるオープンイノベーション、Ｙ－ＰＯＲＴ事業などによる海外展開支援を推進し、市内企業の成長・発展につなげます。  京浜臨海部や金沢臨海部などの産業活性化や、イノベーションを創出しやすい魅力あるビジネス環境の構築など、まちづくり施策と連動しながら戦略的な企業誘致を進め、外資系企業、ベンチャー、Ｒ＆Ｄ拠点などの集積促進により、市内企業の事業機会や雇用機会の増を図ります。  都市農業の活性化に向け、先進技術導入や６次産業化等により｢横浜農場｣の展開を図ります。  ◆文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出  　これまでに培ってきた、横浜らしい特色のある芸術フェスティバルや東アジア文化都市としての実績をもとに、多くの人を惹きつける都市を目指し、本格的な劇場など、横浜の新たな魅力を創出します。また、歴史的建造物・公共空間を有効活用した創造界隈の活性化、創造性を生かしたビジネスの創出など、新たな価値を生み出す取組を推進します。さらに、市民やＮＰＯ等が主体となって行う文化芸術活動の支援や活動の拠点となる施設の整備・運営を進めます。  ◆観光・ＭＩＣＥ、スポーツによる集客促進と地域経済活性化  国内外へのプロモーション強化、魅力ある観光コンテンツづくりや受入環境の整備、データに基づいた観光施策等により、まちの賑わいと消費の拡大を目指します。  新たなＭＩＣＥ施設整備を好機とし、経済波及効果の高い国際会議等の誘致、関連産業の強化を推進します。また、ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた横浜を魅せる取組や機運の醸成、プロスポーツとの連携や大規模スポーツイベントの誘致・開催支援を通じて、集客促進や地域経済活性化を目指します。 |

|  |
| --- |
| ２　花と緑にあふれる環境先進都市  花と緑あふれるガーデンシティ横浜を市民・企業との連携により展開するとともに、ＳＤＧｓやパリ協定の視点を踏まえた環境政策で世界をリードし、自然共生と経済発展を実現します。 |
| ◆豊かな自然環境と暮らしが共存する都市づくり  花・緑・農・水などを身近に感じ多様なライフスタイルを実現する取組の推進や、パークマネジメント等の公民連携によるにぎわい創出、観光・ＭＩＣＥやまちづくりとの連携、農とのふれあいなどにより、魅力と活力にあふれる街「ガーデンシティ横浜」の実現を進めます。  また、自然環境が有する機能を活用したグリーンインフラの普及を進めます。  ◆経済活動を支える低炭素・循環型の都市づくり  パリ協定採択後の「脱炭素経済への移行を目指す」という世界の潮流等を踏まえ、「地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化対策（緩和策・適応策）・エネルギー施策を強化し、高い市民力、企業の集積や多様な都市施設等を活かして、住宅・建築物の省エネ化、バイオマスによる水素製造や太陽光発電等の再エネ、バーチャルパワープラント等のエネルギーマネジメント等の取組を通じて、国内外をリードする大都市モデルを創造します。これらにより環境と経済・社会的課題の同時解決に寄与します。  環境負荷を低減した循環型社会の実現を目指すため、市民・事業者の環境行動等を推進することでリサイクルの活性化を図るとともに、それを支えるインフラの充実・強化や再生可能エネルギーの有効活用に取り組みます。また、食品ロス削減の取組をはじめとした市民・地域・事業者との協働による横浜らしいライフスタイルの定着を推進します。  ◆横浜ならではの環境プロモーションの展開・国内外への発信  市民・事業者・行政の協働により培った経験と実績を活かし、横浜ならではの環境プロモーションを進めます。国際的なイベントや会議等を活用し、横浜の環境の取組を国内外へ発信するとともに、市民・企業等と連携した環境行動や環境教育を推進します。 |

|  |
| --- |
| ３　超高齢社会への挑戦  超高齢社会への挑戦として、いつまでも健康で生きがいを実感し、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる地域社会を実現します。 |
| ◆互いに支え合う地域づくり  ボランティアや見守りなど、高齢者がいきいきと活躍できるよう社会参加を進めます。また、支援を必要とする人（社会的孤立）に気づき、支える仕組みを整えるとともに、地域の住民・団体や施設・企業など、多様な主体の参加・連携による支え合いの地域づくりを進め、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域を実現します。  ◆健康で自立した生活の継続  運動習慣を身に付けるため、身近な活動の場や活動のための仕組みづくりを行うとともに、企業・職場での健康づくりを進めるため、健康経営の取組を支援します。また、健康づくり・介護予防につながる健康情報提供など啓発を進め、健康づくり・介護予防の取組を重点的に実施し、いくつになっても健康で自立した生活を送れるよう、健康寿命の延伸を図ります。  ◆必要な時に医療や介護を提供できる体制づくり  介護・医療・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を推進し、自らの意思で自分らしく生きることができる社会を築きます。  24時間対応可能な地域密着型サービスや生活支援の充実など、在宅介護生活を支えるサービスの充実と連携強化を図るとともに、介護人材の確保・育成を進めます。また、特別養護老人ホームの整備を加速するなど、多様なニーズや状況に応じた施設・住まいの整備を進めます。さらに、在宅医療の充実や在宅医療連携拠点を軸とした医療と介護の連携を強化します。  生活の場や治療内容などについて、自らの意思で自身の生き方を選択するための支援を行い、希望に応じた介護・医療を受けるための仕組みづくりに取り組みます。また、斎場・墓地の整備など、人生の最終段階及びその後への備えにかかる取組を進めます。  小児・周産期医療の充実や総合的ながん対策の推進、将来必要となる病床機能の確保及び連携体制の構築やそれらを支える医療人材の確保・育成に取り組みます。 |

|  |
| --- |
| ４（１）　人が、企業が集い躍動するまちづくり（成長と活力を生み出す都心部）  横浜の成長をけん引するエリア（都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等）の魅力をより一層向上させ、国内外から人や企業が集い活力を生み出す都心部を実現します。 |
| ◆都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等の魅力向上  横浜駅周辺でのエキサイトよこはま２２の推進、企業集積を活かしたみなとみらい２１地区の開発推進、現市庁舎街区の活用等を契機とした関内・関外地区の更なる活性化、東神奈川臨海部周辺地区の再開発の推進等を図るとともに、山下ふ頭における新たな賑わい拠点の形成等のまちづくりを進めます。  また、京浜臨海部では、次世代のものづくり産業等の更なる強化に向け、土地利用誘導や都市インフラ整備等の総合的なまちづくりを進めるとともに、神奈川東部方面線等の整備により交通利便性の高まる新横浜都心の拠点機能の強化と、日吉・綱島地区のまちづくりを進めます。  ◆人や企業が集まり、活躍できる環境づくり  各地区の特性を活かした企業誘致や集積を促進するまちづくりを推進するとともに、企業のグローバル化の進展や働く人々のライフスタイルにも対応した、住宅・医療・教育等の就業・生活の環境づくりを進めます。また、密集市街地等における道路空間の整備や交通利便性の向上など、安全・安心なまちづくりを進めます。  ◆人々の交流や回遊性を促す賑わいあるまちづくり  観光・ＭＩＣＥ、クルーズ、スポーツや文化芸術鑑賞等で訪れる人々が街を楽しみ、回遊できるように、花や緑、水辺や道、歴史的建造物等の魅力資源をつなぐまちづくりを進めます。また、水上交通・連節バスなど多彩な交通の充実を図るとともに、鉄道・バス等の利便性の向上やバリアフリー化の推進など、誰もが快適に移動できる環境を整備します。 |

|  |
| --- |
| ４（２）　人が、企業が集い躍動するまちづくり（誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部）  駅周辺の機能強化、自然豊かで良好な住環境、それらをつなぐ地域交通の充実などにより、誰もが愛着を持ち、「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部を実現します。 |
| ◆駅及び駅周辺の機能強化  　駅周辺においては、地域の生活や経済を支える拠点となるよう、地域特性に応じた機能集積（医療・福祉、子育て、教育、商業・業務、多様な住宅）を図るとともに、道路、交通等の都市基盤整備により利便性を高め、個性ある生活拠点を形成します。  ◆住宅地の活性化・魅力向上  日常生活を支える機能やサービス（医療・福祉、買い物、子育て等）の充実を図るとともに、団地の建替え等の住宅地の再生・活性化の取組や、水や緑など豊かな自然を活かした住環境の整備を進めるなど、若い世代をはじめ多世代に選ばれ、住み続けたいと思える住宅地を形成します。  ◆市民に身近な交通ネットワークの維持・充実  駅周辺と住宅地をつなぐバス等の地域の公共交通の維持・充実を図るとともに、買い物や医療・福祉、子育て等のニーズをとらえ、住民主体の取組や民間事業者等との連携を強化し、地域特性に合わせた、市民に身近な交通の充実を図ります。  ◆戦略的な土地利用誘導・まちづくり  鉄道駅・インターチェンジ周辺、米軍施設跡地等の都市的土地利用が見込まれる地域や、市街地における土地利用転換の機会をとらえ、緑や農地の保全などとのバランスを図りながら、地域の活性化や広域的な課題の解決に資する戦略的な土地利用誘導を進めます。また、旧上瀬谷通信施設では、国際園芸博覧会の招致と連動しながら周辺地域を含めた総合的なまちづくりを進めます。 |

|  |
| --- |
| ５　未来を創る多様な人づくり  子育て・教育環境の充実や、女性・シニア・若者の活躍支援など、横浜の未来を創るあらゆる人への投資を推進し、ポテンシャルを存分に発揮できる都市を実現します。 |
| ◆子ども・子育て支援、教育の推進  全ての子育て家庭及び妊産婦に対する相談支援体制の構築や地域子育て支援の場の拡充、小児医療費助成制度の対象の拡大等に取り組むとともに、引き続き保育所等待機児童対策や放課後の居場所づくりを推進し、乳幼児期の保育・教育や放課後児童施策における質の維持・向上等を通して、将来にわたり安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。  自ら学び、社会とつながり、ともに未来を創る人の育成を目指し、子どもたちの可能性を広げる教育に取り組みます。いじめ防止、教職員の働き方改革など喫緊の課題への対応や中学校昼食における「選択制」の充実等により、魅力ある学校づくりを進めます。  子どもたちの健やかな育ちを守るため、児童虐待対策を一層強化するとともに、家庭の経済状況等により子どもの将来を狭めることのないよう、生活・学習支援や地域における子どもの居場所づくり等を推進します。  ◆女性・シニア・若者の活躍支援  女性自身の就職及びキャリアアップに向けた支援や起業支援を行うとともに、市内企業における環境整備や経済団体との連携、多様で柔軟な働き方に対する支援など、横浜ならではの取組を一層推進します。また、性別に関わらず、誰もが自分に合ったライフスタイルや仕事を選択できるとともに、シニアや若者もそれぞれの力や強みを存分に発揮できる社会づくりに向けた取組を進めます。  ◆誰もが自分らしく活躍できる社会の実現  障害のある方の不安や悩みを受け止める機能の充実、就労や社会参加の場を選択できる仕組みづくり、困難を抱える方に対する支援、在住外国人の方も地域の担い手となる多文化共生の推進などにより、誰もが安心して暮らし、活躍することができるまちを目指します。 |

|  |
| --- |
| ６（１）　未来を創る強靱な都市づくり（災害に強い安全で安心な都市）  防災・減災機能を備えた都市づくり、災害に強い人づくり・地域づくりを進め、市民の生命と財産を守る、災害に強い安全で安心な都市を実現します。 |
| ◆地震や地震火災等に強い都市づくり  近い将来に発生が危惧されている大規模地震に備え、建築物の耐震化、条例に基づく防火規制区域内の不燃化推進、臨海部における津波対策や緊急輸送路等のネットワーク強化、無電柱化の推進、狭あい道路の拡幅整備などをはじめとした「横浜市地震防災戦略」の減災目標達成に向けた様々な取組を進め、市民生活や横浜経済を支える防災・減災機能を備えた強靱な都市づくりを進めます。  ◆局地的な大雨等に強い都市づくり  気候変動の影響等により増加傾向にある局地的な大雨や台風に対し、適応の観点も含め、特に都市機能や人口・資産が集中する横浜駅周辺などの防災機能を高めるほか、流域全体での河川・下水道・みどり・道路・まちづくりが連動した総合的な浸水対策や、自然の機能を活用したグリーンインフラの普及、臨海部における高潮対策を着実に進めます。  また、土砂災害の防止・軽減を図るため「総合的ながけ地対策」を進めます。  ◆災害等に強い「人づくり」「地域づくり」  近年の大規模な自然災害の教訓を踏まえ、これまで進めてきた自助・共助の取組をより一層推進するため、災害情報の多様な伝達手段の検討を進めます。  また、女性の視点を取り入れた防災対策、高齢者や障害児・者等の災害時要援護者などに配慮した避難所運営等の対策などの地震対策や、自助・共助の促進による局地的な大雨等に対する減災対策を進めることで、「逃げ遅れによる人的被害ゼロ実現」に向けた災害に強い「人づくり」、「地域づくり」を推進します。 |

|  |
| --- |
| ６（２）　未来を創る強靱な都市づくり（市民生活と経済活動を支える都市基盤）  道路・鉄道・港湾などの都市インフラの充実、公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新を進め、将来にわたり市民生活と経済活動を支える都市基盤を実現します。 |
| ◆市民生活や横浜経済を支える都市基盤施設の充実  　市民生活の利便性や安全性の向上、横浜経済の活性化に向け、都市計画道路の整備、連続立体交差事業の推進などの様々な都市インフラの整備を着実に進めるとともに、広域交通ネットワークの形成に向けた横浜環状道路等の整備や神奈川東部方面線の整備、高速鉄道３号線延伸の事業化検討などの推進により都市基盤施設の充実を図ります。  ◆国際競争力のある港の実現  クルーズ客船の多様化や増加する寄港依頼に対応するため、新港ふ頭客船ターミナルや大黒ふ頭ＣＩＱ施設の整備などの客船の受入機能の強化を図るとともに、東アジアのハブポート機能の強化に向けて、南本牧ふ頭の整備や新本牧ふ頭での物流拠点の形成やＬＮＧバンカリング拠点の検討などを推進することにより、国際競争力のある港を実現していきます。  ◆公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新  都市インフラや公共建築物を含む公共施設の老朽化の進行に対し、長寿命化を基本とした、確実な点検と優先順位づけに基づく計画的かつ効果的な保全・更新を着実に進めることで、将来にわたる安全性・強靱性を確保し、必要な機能・サービスの持続的な提供を目指します。  特に、市立小中学校や市営住宅などについては、建替えを着実に進めるとともに、建替えなどの機会をとらえた、公共建築物の多目的化や複合化等の再編整備を検討します。  また、質の高い公共施設の保全・更新を安定的に進めるため、担い手となる市内中小企業の育成・活性化を図ります。 |